

# ひろば大代

NO.440

大代まちづくり  
センター

H28.3.23

## 彼岸に寄せて

四日市 荒本由未



今年も春の彼岸が巡ってきました。

「毎年よ彼岸の入りに寒いのは」

正岡子規の句です。子規が、母親の言葉をもそのまま句にしたものです。余寒を感じながらも、長く厳しい冬を経て迎える春の彼岸は殊の外、一山越えたような安堵感があります。「暑さ寒さも彼岸まで」という慣用句にもそれが表れています。

彼岸は、春と秋、二度訪れます。国民の祝日である「春分の日」・「秋分の日」は彼岸の中日に当たります。その中日の前後一週間を彼岸と言います。この中日には太陽が真東から昇って真

西に沈み、昼と夜の長さが同じになるとされています。

また、彼岸は仏教用語でもあります。私たちの住む人間の現実世界を「此の岸」という意味で「此岸」と言い、そこは煩惱に満ちた迷いの世界、「娑婆」でもあります。対して「彼岸」は「彼岸」で、迷いを脱した清浄真実なる悟りの境地、「浄土」です。彼岸とはサンスクリット語「パーラミター（波羅密多）」の漢訳語「到彼岸」から出た語です。この言葉が示すように、浄土に至ることが肝要で、その道を尋ねていくことが本来の意味です。

彼岸は日本独自のものです。平安時代にはすでに、法会である「彼岸会」が開かれています。太陽の沈む西の方向に極楽浄土を觀じ、我がいのちの帰る所を想う浄土思想と浄土信仰が盛んになるにつれ彼岸の風習は広まり、現在に至っています。

今を生きる私たちも、彼岸は親しい慣習として身近に感じます。大田市には昔から「中日つあん」として賑わう

市が立ちます。それは季節の変わり目と農耕との関わりを知らされる風物詩でもあります。墓参りやおはぎ（春に咲く牡丹から春には「牡丹餅」、萩の咲く秋は「御萩」という説もあり）をいただく中に、過ごしやすい時期を迎えたよろこびと感謝を抱きます。

これから田畑での播種作業も始まりますが、私は「播けよ播け ほとけの種も彼岸から」という昔から伝えられている句を大切にしています。

## お世話になりました。

大代駐在所 小川 峰



この度、人事異動で益田警察署に異動になりました。

わずか一年という短い期間ではありましたが、大代町で過ごした日々は私にとって大変、充実したものでした。初めての駐在所勤務で、かなり不安がありました。皆様に親切にしてください、感動の連続でした。

私の中で、大代町は初めて駐在所員

として生活した場所で、特別な存在であり、今後、一生忘れる事はないでしょう。

大代町に立ち寄る事もあると思いますので、その時まで元気にお過ごし下さい。有難うございました。

+++++

### ◆抜粋シリーズ②◆

\*34年前の「ひろば大代」

第38号より

### ◆読書に浸るひとときを



尾川綽一

「わたしが本を読んでいると、お母さんもそばで本を読んでいます。」「この本は、お父さんが大田から買って来てくれました。よく買ってくれますよ。」

「おばあさんは、本を読み、本を読み、とよく言います。」「今日も○○さんと一緒に杉の子文庫で本を借りて帰ります。」

これは、子供達が教室で話してくれたことばです。親子で共に本を読む母。子供のために良書を買って与える父。読

書を勧める祖母。そして、自ら本を求めていく子供達。なんとすばらしく美しい姿でしょう。こんな環境の中で子供達は健やかに育つのです。現代の人達は、本を読まなくなったといわれます。秋の夜長のひととき、テレビから離れて本を開き、ゆっくりとその楽しさを味わう時間を作りたいものです。

### ◆親子読書

公民館主事 松井 幸

土曜よる七時。「日本昔ばなし」奇抜な漫画がお気に入りか、「むかし、むかし…」のあの独特の口調にひかれるのか、もう高校生と言うのにテレビに映る画面を無心になって、見入っているわが子の姿を見て深く考えさせられる。

子供はお話しが好きだ。

子供にとっては、大変興味深い番組に違いない。そしてテレビに代わってお母さんやお父さんの声になったら幼児にとつて、もっともっと素晴らしい事になる。いわゆるこれが親子読書であ

る。

楽しい話、悲しい話、こわい話、よい事、悪い事、色々なお話しをお母さんの声で聞かせてもらえる。

一日に10分でも15分でもいい。毎日の積み重ねが幼い子供にとって将来、如何に大きなプラスとなる事を若いお母さん方、考えてみる事にしてみては。

### ◆交通安全週間に想う

植松 小笠原恵利

近年交通事故死は減りつつある由。警察の御盡力、運転者の自覚、多方面の努力によるものでしょう。

車は何よりも便利なものではありませんが、一旦、事故を起こせば自身の不幸たるのみならず、他人をも巻き込み、傷害、致死等の加害者となり下がります。車は正に両刃の剣のような危険なものでもあります。

便利さと危険性、この両面を深く心得、天秤にかけ「必要の度合を計量して、車を所有しない孤高の選択であります。」

+++++

## 大江高山

### 自然観察登山の 開催のお知らせ



大代高山会と市役所環境政策課では春の自然観察登山を開催します。

大田市自然環境保全条例に指定された春の妖精「イズモコバイモ」や春の女神「ギフチョウ」を見る事が出来ます。山好きの皆さんの参加をお待ちしています。

日時…4月10日(日)午前8時30分  
集合場所…県道46号線(大田桜江線)

山田バス停前 雨天中止

## トピックス

### 華やかなおひな様イベント

大代まちづくりセンター

今年も3日に「ひな祭り」イベントを華やかに賑やかに行いました。

家庭で飾られなくなった「ひな人形」をまちづくりセンター集会室に展示させて頂きました。

ひな人形は求められたその時の年代

や場所によって、微妙に飾り物が違ってきます。また椿自治会からは竹の中に折り紙で作った、手作りの可愛いおひな様が並んだ竹の展示もあり、とてもあたたかい趣があって好評でした。



当日来られた方々には、折り紙の可愛いおひな様とおだいり様を作って頂きました。みんなで助け合って折り紙を折り、それぞれ違ったお顔のおひな様が出来上がりました。

「みんなと一緒に、おひな様を作って



イサービスみたいでうれしかったし、楽しかったです。帰ってみんなに自慢して玄関に飾ります。」と、皆さんに喜んでいただきました。大代では4月3日が節句の日なので、それまで飾ってもらえる予定です。

そのあと「お楽しみくじ」や美味しいぜんざいに舌鼓をうち、和やかで楽しい地域のにぎわいの場となりました。

◆ **初売り餅つきイベント** ◆

3月13日（日）よっちゃん菜直売所の初売りイベントが行われ、香りのある「あおみ」のあるよもぎ餅がつきあがりました。

当日朝はマイナス1℃の寒さでしたが、今年初めての、まだ温もりのあるよもぎ餅が好評でした。



◆ **福祉弁当** ◆

3月20日（日）朝から婦人会の山田支部と本会役員さんとの合同で、福祉弁当が作られました。

食べられた方からは「美味しかったです。色どり良く食欲をそそる弁当で、

おかずの種類も多く、楽しみながら食べました。いつも美味しいお弁当をいただいで嬉しく思っています。有難うございます。」のメッセージをいただきました。



今月のお弁当

|| **俳句** ||

あすなる句会

柿田 横手いちえ

春雨や 芽吹きうながす 庭の木々

種物を 出して日当たる 縁側に

八反田 森 信子

手作りの 雛に目鼻や 皆笑顔

玄関に 高く活けあり 猫柳

下市 今田文子

三寒や 仔牛の息の 白き朝

雪解水 小溝も道も 溢れけり

川上 岩田律枝

束の間の 仕合せ胸に 春浅き

種袋 探して暮れる 小半日

椿 柿丸寿枝

はり 玻璃戸打つ 夜半の嵐や 二月尽

薄氷や 朝日に映えて 光り合ふ

**4月行事予定**



\* \* \* \* \*

▼ 4日（月） 寿会総会

▼ 6日（水） ～ 15日（金）

春の交通安全運動

|| **子どもと高齢者の交通事故防止** ||

▼ 10日（日） 大江高山「春の登山」

山田集会所前 午前8時半集合

※雨天の場合中止です

▼ 11日（月） 高山小学校入学式午前中

▼ 11日（月） 第三中学校入学式午後

▼ 17日（日） 福祉弁当

▼ 19日（火） さくららんぼ教室

▼ 23日（土） 連合自治会